

統計研修講義計画書

研修課程	国民・県民経済計算	講義科目	県民経済計算の概要	講義時間	7コマ
講師	大平 純彦 静岡県立大学経営情報学部准教授				

※1コマ70分

講義のねらい

県民経済計算は、地域の経済動向を分析する際に広く用いられる基本的な地域統計であり、我が国では内閣府の「推計マニュアル」に基づき、県が主体となって推計されている。県民経済計算は多様な分析を可能にする統計システムであるが、現状では「一人当たり県民所得」に注目が集まるといいう利用上の偏りがみられる。

一方、国連の国民経済計算では、地域経済計算はサテライト勘定の一つに位置付けられている。こうした広い観点から眺めることによって、県民経済計算の概要について理解を深めるとともに、地域の経済構造を分析するための具体的な方法論について学ぶことがこの講義のねらいである。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 国民経済計算の予備知識	県民経済計算は、国民経済計算に準じて作成されているので、まず国連による国民経済計算についてみておこう。国連の基準は時代とともに改定されており、その発展について歴史的な観点から説明する。さらに国内総生産や国民総所得などの主要集計量の意味について国連の説明を解説する。
2. 県民経済計算の概要	国連は93SNAという基準において、サテライト勘定の一つとして地域経済計算の考え方を提示した。日本の県民経済計算は、戦後すぐに県が主体となって推計が開始されたので、93SNAとは考え方の異なる点がある。日本の県民経済計算の特徴を国連の基準との比較の観点から解説する。
3. 県民経済計算の利用	県民経済計算は県の経済構造の幅広い分析を可能にする多様な情報を含んでいる。現状では一人当たり県民所得にのみ関心が集中する傾向があるが、地方分権の流れの中で、政策評価など多様な目的に用いることが求められている。県民経済計算の具体的な利用法を事例により紹介する。

講義形態 指導方法

基本的に講義形式で行い、パソコンを用いて分析事例などを説明します。

受講に必要な 基礎知識等

初歩から説明しますので、基礎知識は必要ありません。